

第209回 信用保証利用企業動向調査

(2021年4～6月期実績、2021年7～9月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2021年11月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	2021年6月中旬
【調査対象】	1,869企業
【有効回答数】	769企業（回答率41.1%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

**「県内信用保証利用企業の景況は、
持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いています」**

生産・売上

全ての業種で改善し、特に卸売業、サービス業、建設業、製造業で大幅に改善しました。

採算

全ての業種で改善し、特に卸売業、製造業で大幅に改善しました。

資金繰り

全ての業種で改善し、特に製造業、卸売業で大幅に改善しました。

借入難易感

製造業、卸売業、サービス業で改善し、建設業、小売業で悪化しました。

■ お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 廣瀬・小田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



概況

総合DIの推移

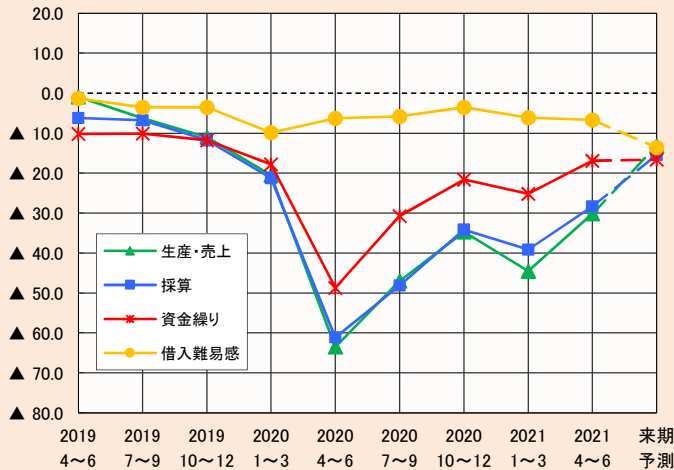
コメント ～全国と同様に、福岡の景況も持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～

今期調査(2021年4～6月期)による景況動向指数は、前期(2021年1～3月期)実績に比べ、全国値では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が縮小、借入難易感DIは横ばいとなりました。

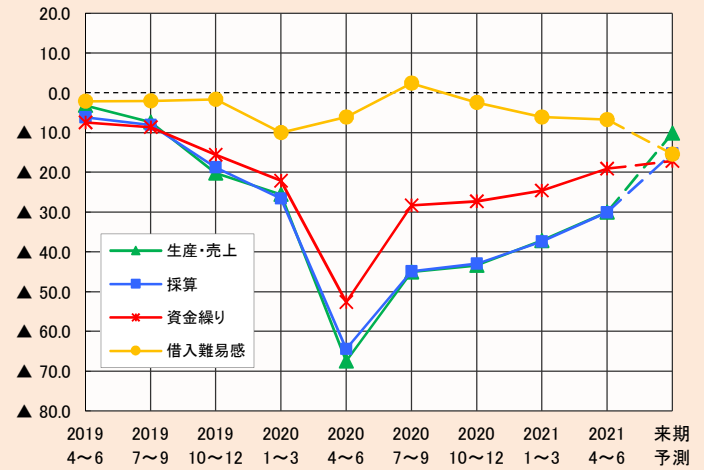
福岡では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が縮小、借入難易感DIは横ばいとなりました。

来期予測では、全国、福岡ともに、借入難易感DIが悪化する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS

◆信用保証申込書式等の改正について◆

信用保証申込手続きを効率化し、融資実行までのリードタイムを短縮するため、令和3年4月1日保証申込受付分から保証関係書式等の改正を行っています。

また、令和3年7月1日保証申込受付分より、「信用保証委託契約書」の提出時期が保証申込時から、金銭消費貸借契約書等の締結時(保証承諾後)に変更となりました。

改正書式	令和3年3月以前(改正前)	令和3年4月以降(改正後)
信用保証委託申込書	申込人の自書捺印が必要	・信用保証委託申込書の押印廃止 ・金融機関による記入代行など作成補助が可能
信用保証依頼書	金融機関の押印が必要	・金融機関の押印廃止 ・金融機関が申込人に保証申込意思確認をしたことを記載する「確認状況記載欄」を追加
信用保証委託契約書	保証申込時に申込書類に添付(前取り)	・保証申込時に申込書類に添付(前取り) ・令和3年7月以降は融資実行時に締結し、協会に提出(後取り)
個人情報の取扱いに関する同意書	保証申込毎に同意書の提出が必要	・同意書を改正し包括同意書に変更 ・包括同意書を一度提出すれば、その後の提出は不要

生産・売上DI

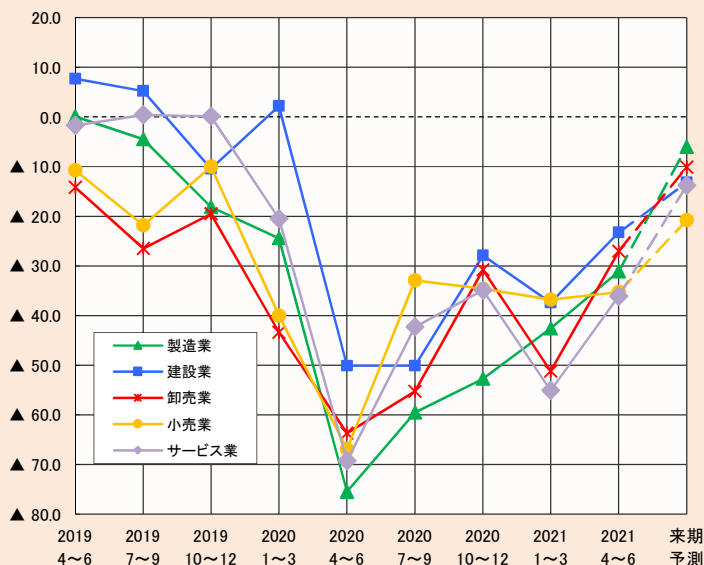
コメント ～全ての業種で改善し、特に卸売業、サービス業、建設業、製造業で大幅に改善～

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ14.3ポイント改善し、▲30.2となりました。

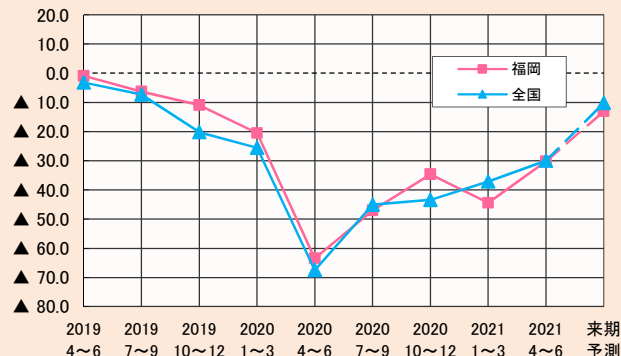
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は24.2ポイント、サービス業は19.0ポイント、建設業は14.1ポイント、製造業は11.5ポイント大幅に改善し、小売業は1.5ポイント改善しました。

来期予測では、全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実産・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の実産・売上DIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲5.9	▲30.2	▲13.1
製造業	▲10.3	▲31.1	▲6.0
建設業	▲4.4	▲23.3	▲13.2
卸売業	▲0.8	▲27.0	▲10.1
小売業	7.1	▲35.3	▲20.8
サービス業	▲17.5	▲36.1	▲13.8

採算DI

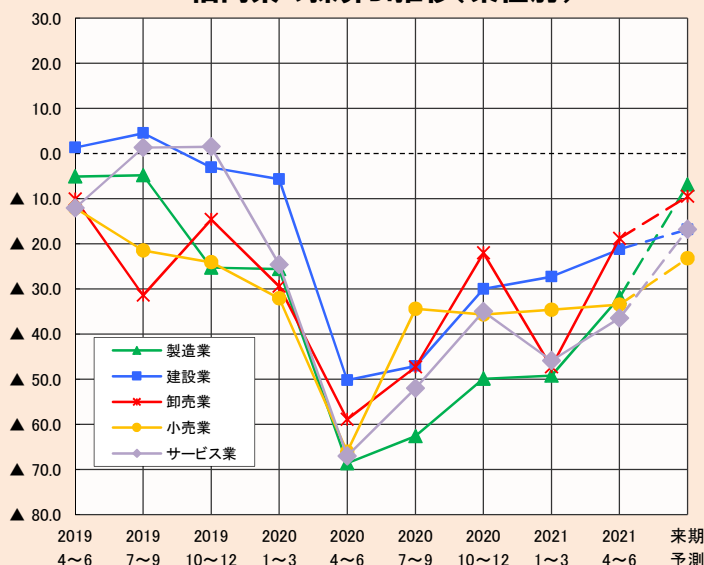
コメント ～全ての業種で改善し、特に卸売業、製造業で大幅に改善～

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ10.8ポイント改善し、▲28.3となりました。

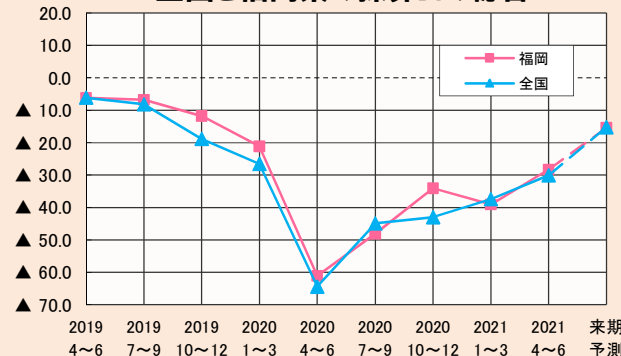
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は28.5ポイント、製造業は17.3ポイント大幅に改善し、サービス業は9.4ポイント、建設業は6.1ポイント、小売業は1.1ポイント改善しました。

来期予測では、全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の実採算DIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲14.2	▲28.3	▲15.4
製造業	▲23.0	▲31.9	▲6.9
建設業	▲7.6	▲21.2	▲16.8
卸売業	▲10.7	▲18.8	▲9.5
小売業	▲5.8	▲33.5	▲23.2
サービス業	▲25.1	▲36.5	▲16.8

資金繰りDI

コメント

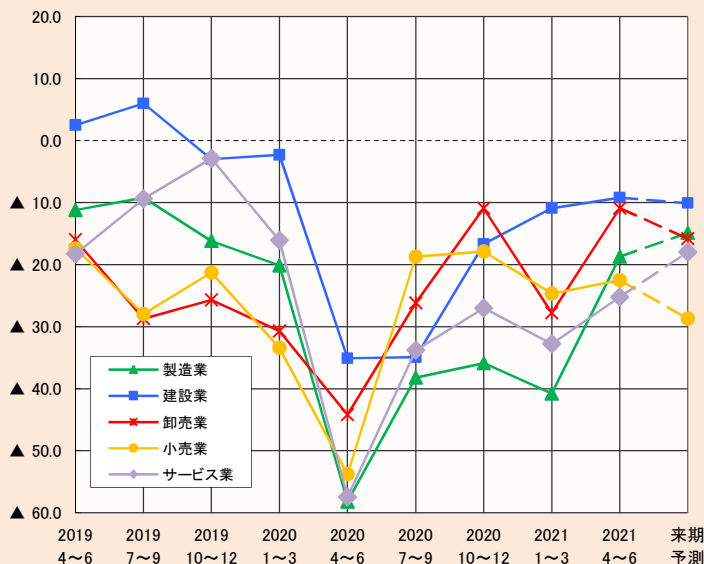
～全ての業種で改善し、特に製造業、卸売業で大幅に改善～

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ8.3ポイント改善し、▲16.9となりました。

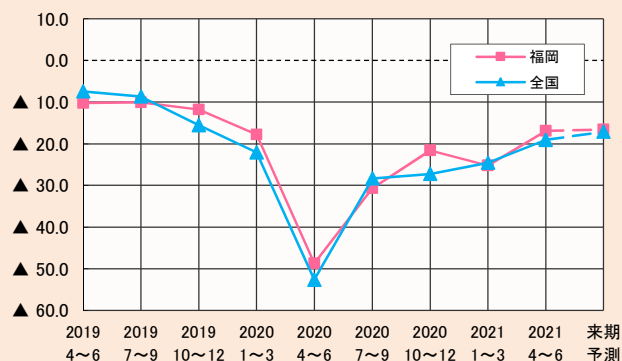
業種別では、前期実績に比べ、製造業は22.1ポイント、卸売業は16.9ポイント大幅に改善し、サービス業は7.6ポイント、小売業は2.2ポイント、建設業は1.7ポイント改善しました。

来期予測では、サービス業及び製造業で改善し、建設業で横ばい、小売業及び卸売業で悪化する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 17.0	▲ 16.9	▲ 16.6
製造業	▲ 30.4	▲ 18.7	▲ 14.9
建設業	▲ 9.6	▲ 9.2	▲ 10.1
卸売業	▲ 12.1	▲ 10.9	▲ 15.8
小売業	▲ 8.7	▲ 22.5	▲ 28.7
サービス業	▲ 28.4	▲ 25.2	▲ 18.0

借入難易感DI

コメント

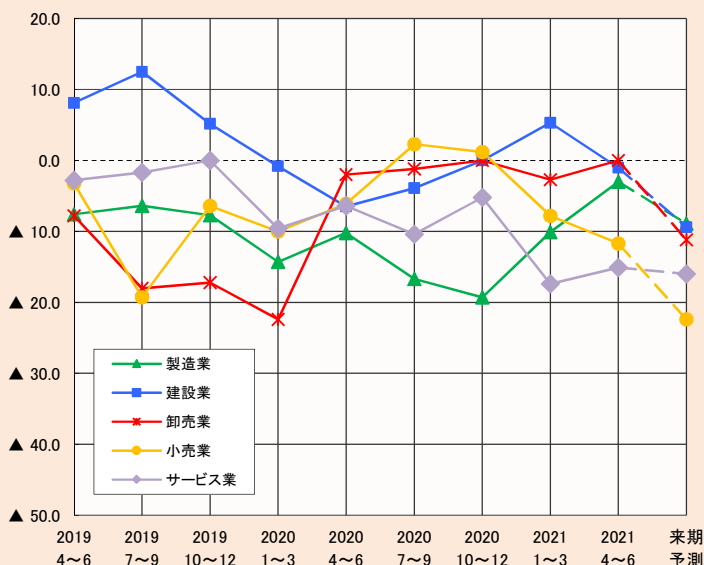
～製造業、卸売業、サービス業で改善し、建設業、小売業で悪化～

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績と比べ横ばいの▲6.7となりました。

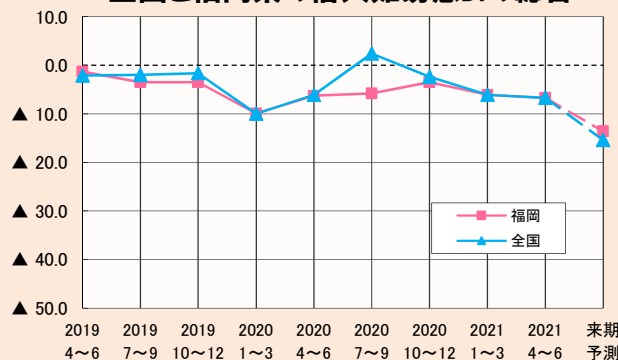
業種別では、前期実績に比べ、製造業は7.1ポイント、卸売業は2.7ポイント、サービス業は2.3ポイント改善しました。一方で建設業は6.3ポイント、小売業は3.9ポイント悪化しました。

来期予測では、サービス業を除く全ての業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合

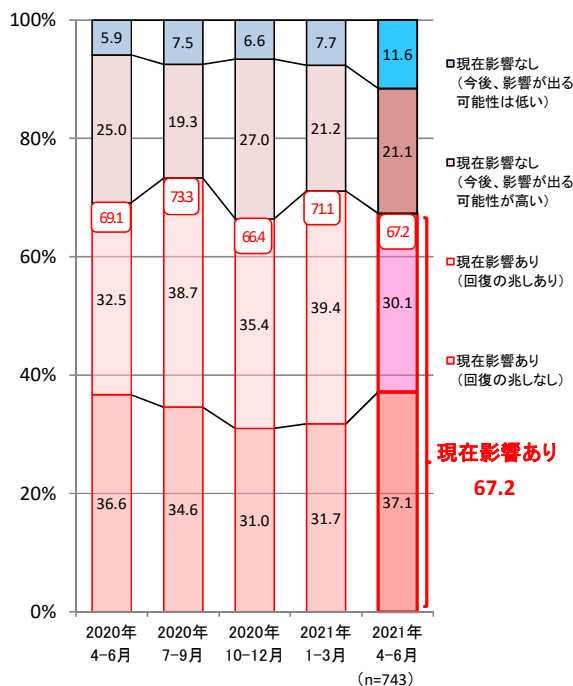


福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 18.5	▲ 6.7	▲ 13.6
製造業	▲ 22.4	▲ 3.0	▲ 8.9
建設業	▲ 9.0	▲ 1.0	▲ 9.4
卸売業	▲ 22.4	0.0	▲ 11.2
小売業	▲ 19.2	▲ 11.7	▲ 22.4
サービス業	▲ 23.8	▲ 15.1	▲ 16.0

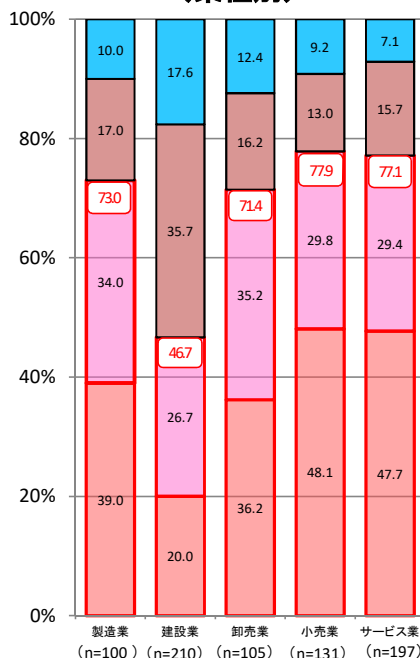
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は67.2%と、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- ・業種別にみると、建設業は「現在影響あり」が46.7%と他業種と比べて低い割合となっている。
- ・従業員規模別にみると、0～2人は「回復の兆しなし」の割合が一番高くなっている。

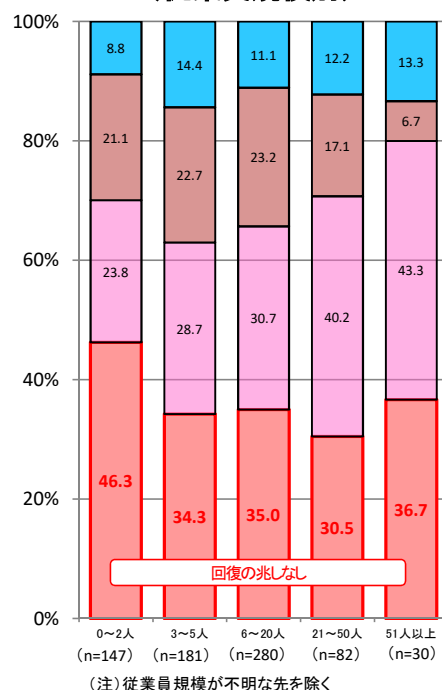
企業活動へのマイナスの影響



企業活動へのマイナスの影響 (業種別)



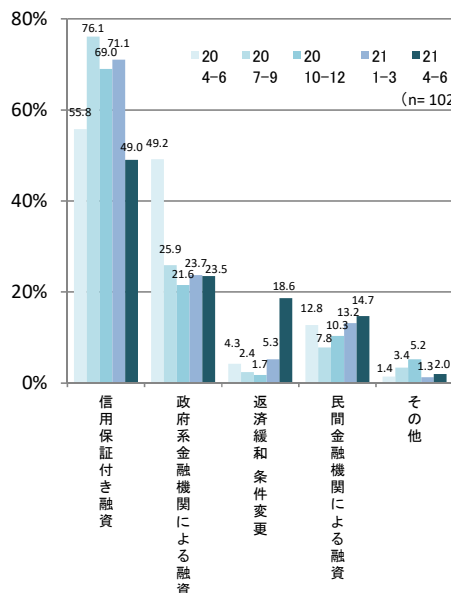
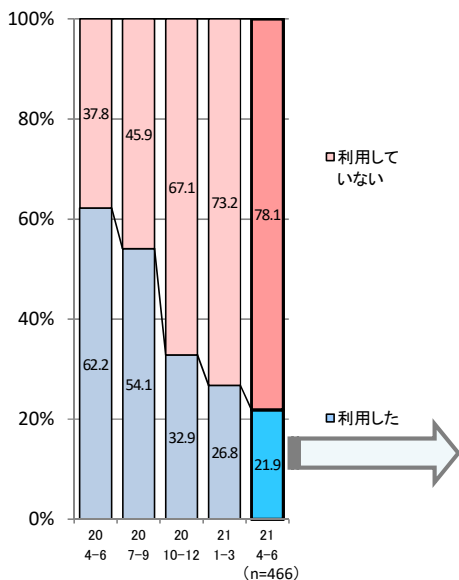
企業活動へのマイナスの影響 (従業員規模別)



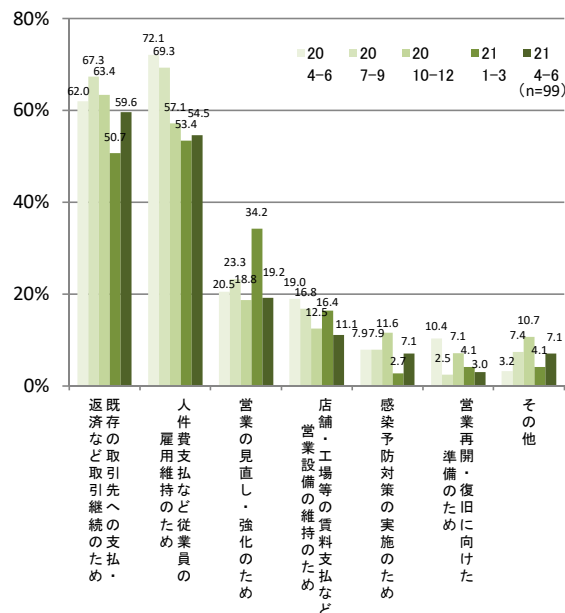
2. 金融支援の利用状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、21年4～6月に金融支援を「利用した」と回答した企業は21.9%と低下している。また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が49.0%と最も高い。
- ・金融支援を利用した理由については、「既存の取引先への支払・返済など取引継続のため」が最も多く、次いで「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が続いており、回答割合は、いずれも5割を超えている。

金融支援の利用状況



金融支援を利用した理由



(注) 20/4-6は、20/3における金融支援の利用を含む
(本頁における他のグラフ内の「20/4-6」も同じ)。

(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。

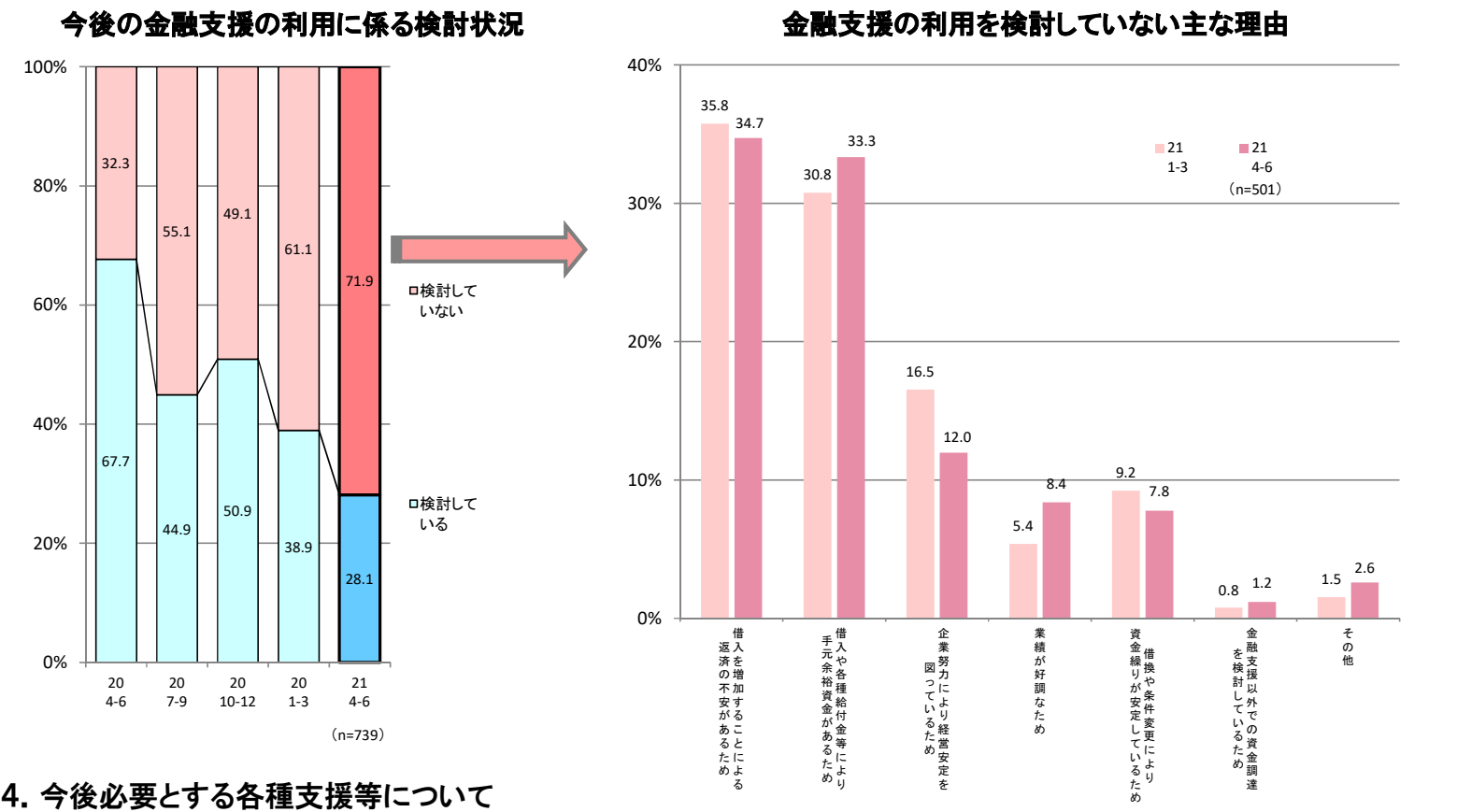
(注2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討していない」と回答した企業が71.9%と7割を超えた。

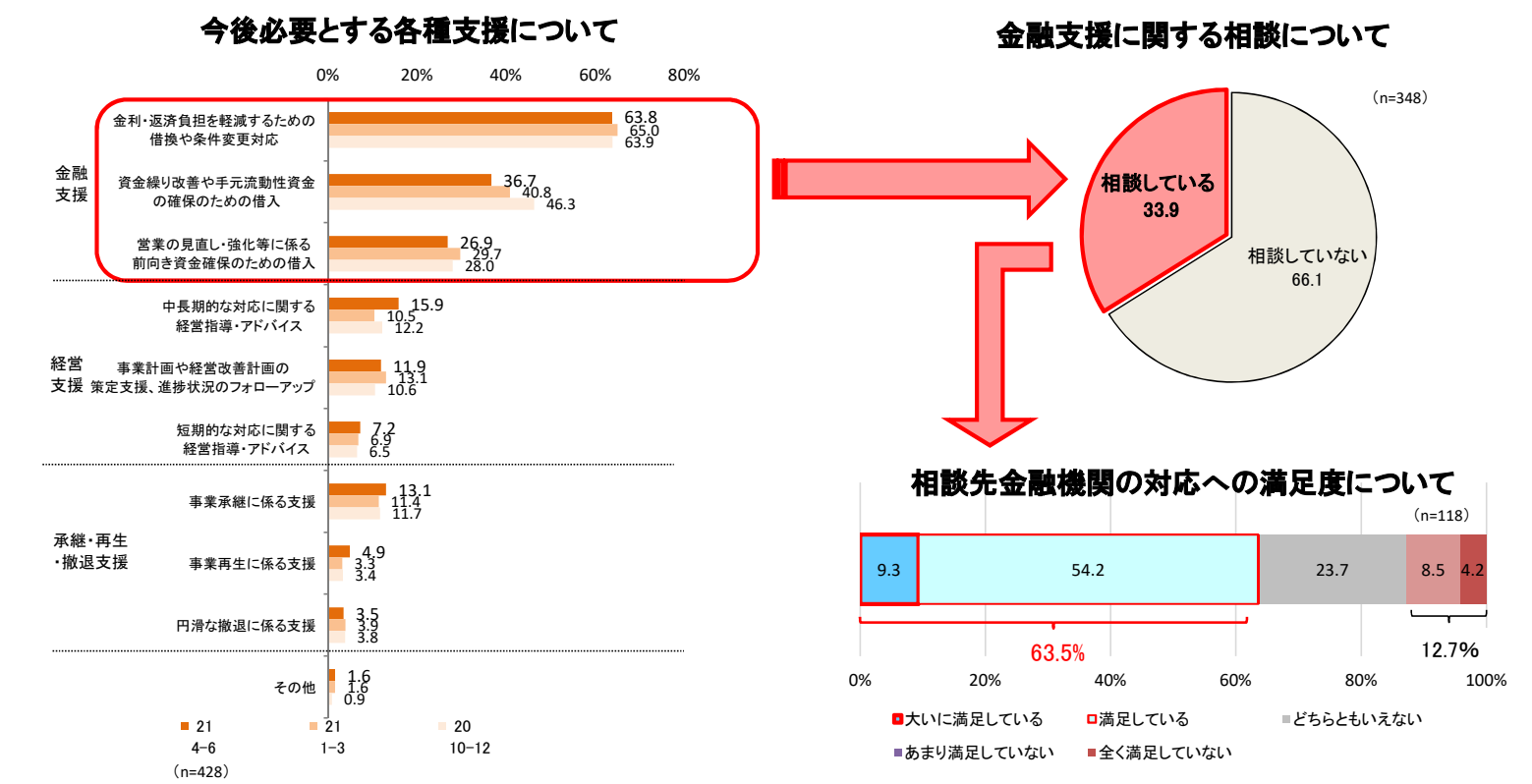
・「検討していない」と回答した企業の主な理由としては、「借入を増加することによる返済の不安があるため」、「借入や各種給付金等により手元余裕資金があるため」がいずれも3割を超えている。



4. 今後必要とする各種支援等について

・今後、必要とする各種支援については、「金利・返済負担を軽減するための借換や条件変更対応」が6割を超えている。

・金融支援を必要としている企業について、金融機関への相談状況をみると、相談している企業の割合は33.9%と3分の1程度であるものの、金融機関へ相談している企業においては、「大いに満足している」と「満足している」を合わせると63.5%となっており、満足度は高い。



相談先金融機関の対応への満足度について

満足度	割合
大いに満足している	9.3
満足している	54.2
どちらともいえない	23.7
あまり満足していない	8.5
全く満足していない	4.2

(n=118)

(注)複数回答のため、合計は100%を超える。